

2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2019年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 レオン自動機株式会社

コード番号 6272 URL <https://www.rheon.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田代 康憲

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務統括部長 (氏名) 宮岡 正 (TEL) 028-665-1111  
兼 経理部長

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	6,763	△20.2	649	△31.9	668	△34.1	446	△22.5
2019年3月期第1四半期	8,477	32.1	954	17.1	1,014	20.3	575	△0.9

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 262百万円(△65.3%) 2019年3月期第1四半期 756百万円( 4.8%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2020年3月期第1四半期	16	66	16	62
2019年3月期第1四半期	21	50	21	46

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円
2020年3月期第1四半期	31,812	23,754	74.5	885.10
2019年3月期	32,179	23,867	74.0	889.32

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 23,701百万円 2019年3月期 23,814百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
2019年3月期	—	14.00	—	14.00	28.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
第2四半期(累計)	14,700	△4.8	1,870	5.1	1,930	0.7	1,370	9.8	51.16
通期	29,230	2.8	3,750	12.5	3,820	8.9	2,670	8.0	99.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	28,392,000株	2019年3月期	28,392,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	1,614,234株	2019年3月期	1,614,171株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	26,777,786株	2019年3月期1Q	26,778,395株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績予想の数値は、当社が現在入手している情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は、今後様々な要因によって、本業績予想の数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景とした個人消費の緩やかな回復、好調な企業収益を背景とした製造業の能力増強投資、人手不足対応の省力化投資の増加など、全体としては緩やかな回復基調で推移しましたが、米中貿易摩擦による輸出の低迷や中国経済の先行きなど不透明な状況です。

海外経済におきましては、米国では堅調な雇用・所得環境により個人消費は堅調さを維持しましたが、対中国を中心に保護主義的な通商政策の動きが強まっていることなどから下振れリスクが高まっております。欧州では、雇用・所得環境の改善は続いておりますが、輸出や設備投資などが低迷しております。アジアでは、中国で米中貿易摩擦の悪影響が輸出や投資に現れてきているものの、景気対策の効果により、ほぼ横ばいで推移しました。

このような状況の中、当社グループは2018年度を初年度とする中期経営計画を策定し、『変革への挑戦』を合言葉に、4つの重点施策である「生産体制の強化」「販売体制の強化」「人材育成」「業務環境整備」に取り組んでおります。

当社グループが市場とする食品業界は、消費者ニーズの高度化、多様化に伴う商品のバリエーション化、人手不足を背景とした省人化・省力化などの課題をかかえております。また、食の安全性、健康志向の増大、環境問題など市場のニーズが多様化しております。変化する市場環境や経営環境に対応するため、市場動向を調査し、レオロジー（流動学）を基礎とする当社独自の開発技術の商品化およびソフト技術の充実により、食品機械のより一層の標準化推進と、安全性の向上を図るとともに、多様な消費者ニーズに対応できる商品群を国内および海外の食品業界へ提案してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は6,763百万円（前年同四半期比20.2%減）、営業利益は649百万円（前年同四半期比31.9%減）、経常利益は668百万円（前年同四半期比34.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は446百万円（前年同四半期比22.5%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、セグメント別の売上高は、連結相殺消去後の数値を、セグメント利益は、連結相殺消去前での本社一般管理費を除いた数値を記載しております。

## 食品加工機械製造販売事業(日本)

日本国内では、修理その他は増加しましたが、食品成形機、製パンライン等、仕入商品の売上は減少しました。

前第1四半期に製パンライン等で大型ラインの販売が集中し、売上が大幅に増加していたため、減少となりました。

その結果、外部顧客に対する売上高は2,552百万円(前年同四半期比45.2%減)となりました。

セグメント利益は443百万円(前年同四半期比68.2%減)となりました。

## 食品加工機械製造販売事業(北米・南米)

アメリカ地域では、修理その他の売上は減少しましたが、食品成形機、製パンライン等の売上が増加したため、現地通貨ベースでは、前年同四半期比49.5%増加となりました。

主な要因は、食品成形機でフィロブレッドや中華まん、クッキーなどの生産用として火星人の販売が増加したこと、製パンライン等で「アルチザンブレッドライン」やブレッド生産用として「ツインデバイダー V X 2 1 2型」の販売があったことなどがあげられます。

円ベースでは、円換算に使用するUSドルの期中平均レートが109円07銭から109円90銭と0.8%の円安となったため、外部顧客に対する売上高は540百万円(前年同四半期比50.7%増)となりました。

セグメント利益は25百万円(前年同四半期はセグメント損失6百万円)となりました。

#### 食品加工機械製造販売事業(ヨーロッパ)

ヨーロッパ地域では、修理その他の売上が減少しましたが、食品成形機、製パンライン等の売上が増加したため、現地通貨ベースでは、前年同四半期比64.8%増加となりました。

主な要因は、食品成型機でスコッチエッグなど各国の伝統食やクッキーの生産用として火星人の販売があったこと、製パンライン等でブレッド生産用として大型ラインの販売があったことや、「ツインデバイダー VX 2 1 2型」の販売が好調だったことなどがあげられます。

円ベースでは、円換算に使用するユーロの期中平均レートが130円06銭から123円49銭と5.1%の円高となったため、外部顧客に対する売上高は939百万円(前年同四半期比56.4%増)となりました。

セグメント利益は108百万円(前年同四半期はセグメント利益16百万円)となりました。

#### 食品加工機械製造販売事業(アジア)

アジア地域では、食品成形機の売上は減少しましたが、製パンライン等、修理その他、仕入商品の売上は増加しました。

主な要因は、製パンライン等でバゲット生産用として大型ラインの販売があったことや、中国向けにブレッド生産用として「VMライン」の販売が好調だったことなどがあげられます。

その結果、外部顧客に対する売上高は973百万円(前年同四半期比27.0%増)となりました。

セグメント利益は売上原価率の上昇により、344百万円(前年同四半期比1.6%減)となりました。

#### 食品製造販売事業(北米・南米)

アメリカ地域では、オレンジベーカリーの売上高が現地通貨ベースで、前年同四半期比17.5%減少となりました。

主な要因は、既存及び新規顧客へのクロワッサンやデニッシュなどの売上が増加した一方、大手顧客へのクロワッサンなどの売上が減少したことがあげられます。

円ベースでは、円換算に使用するUSドルの期中平均レートが109円07銭から109円90銭と0.8%の円安となったため、外部顧客に対する売上高は1,635百万円(前年同四半期比16.9%減)となりました。

前年同四半期は、大手顧客への売掛金に対して貸倒引当金繰入額545百万円を販売費及び一般管理費に計上しましたが、当期は計上がないため、セグメント利益は124百万円(前年同四半期はセグメント損失336百万円)となりました。

#### 食品製造販売事業(日本)

日本国内では、(有)ホシノ天然酵母パン種の外部顧客に対する売上高は121百万円(前年同四半期比6.1%減)となりました。

主な要因は、大手ユーザー向けのパン種の販売が減少したことがあげられます。

セグメント利益は、21百万円(前年同四半期比1.1%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて482百万円減少し、15,553百万円となりました。受取手形及び売掛金が319百万円増加した一方、法人税や配当金の支払いなどにより現金及び預金が843百万円減少したことが主な要因です。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて115百万円増加し、16,258百万円となりました。建設仮勘定が166百万円減少した一方、当社の基幹システム入れ替えにともなうソフトウェア仮勘定の増加などによる無形固定資産が191百万円増加、投資有価証券が19百万円増加、その他に含まれている繰延税金資産が69百万円増加したことが主な要因です。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて367百万円減少し、31,812百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて202百万円減少し、6,600百万円となりました。当第1四半期連結累計期間における原材料等の購入が多かったため、支払手形及び買掛金が295百万円増加した一方、短期借入金が263百万円減少、売掛金に充当したことにより前受金が210百万円減少したことが主な要因です。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて51百万円減少し、1,457百万円となりました。繰延税金負債が36百万円増加した一方、長期借入金が86百万円減少したことが主な要因です。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて254百万円減少し、8,058百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて112百万円減少し、23,754百万円となりました。利益剰余金が71百万円増加した一方、為替換算調整勘定が199百万円減少したことが主な要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の売上高は概ね当初予想通りに推移しております。2019年5月10日発表の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,466,898	6,623,281
受取手形及び売掛金	2,455,172	2,774,299
商品及び製品	3,821,357	3,714,482
仕掛品	1,048,331	1,132,294
原材料及び貯蔵品	803,236	823,088
その他	457,258	504,734
貸倒引当金	△16,211	△18,463
流動資産合計	16,036,042	15,553,717
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	14,100,158	14,149,038
減価償却累計額	△8,732,323	△8,767,805
建物及び構築物（純額）	5,367,835	5,381,233
機械装置及び運搬具	7,843,326	7,765,147
減価償却累計額	△5,811,571	△5,712,058
機械装置及び運搬具（純額）	2,031,754	2,053,088
工具、器具及び備品	2,043,453	2,029,931
減価償却累計額	△1,785,222	△1,791,963
工具、器具及び備品（純額）	258,230	237,967
土地	4,731,679	4,712,385
リース資産	45,498	45,498
減価償却累計額	△30,181	△32,092
リース資産（純額）	15,316	13,406
建設仮勘定	792,185	626,024
有形固定資産合計	13,197,003	13,024,105
無形固定資産	592,366	784,322
投資その他の資産		
投資有価証券	830,533	850,231
退職給付に係る資産	1,274,716	1,282,845
その他	255,720	324,212
貸倒引当金	△6,628	△6,850
投資その他の資産合計	2,354,342	2,450,438
固定資産合計	16,143,712	16,258,866
資産合計	32,179,754	31,812,584

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	907,729	1,202,921
短期借入金	746,727	483,309
リース債務	8,210	7,914
未払費用	438,374	1,114,580
未払法人税等	715,197	336,701
前受金	1,680,798	1,470,486
賞与引当金	701,914	355,567
役員賞与引当金	31,700	7,670
未払金	1,359,983	1,491,157
その他	212,536	130,345
流動負債合計	6,803,172	6,600,654
固定負債		
長期借入金	762,345	675,555
リース債務	8,562	6,775
繰延税金負債	137,700	174,657
再評価に係る繰延税金負債	398,310	398,310
訴訟損失引当金	73,278	73,278
資産除去債務	77,523	77,554
その他	51,405	51,246
固定負債合計	1,509,126	1,457,379
負債合計	8,312,298	8,058,033
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,351,750	7,351,750
資本剰余金	7,060,727	7,060,727
利益剰余金	16,078,285	16,149,397
自己株式	△782,638	△782,740
株主資本合計	29,708,124	29,779,134
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	140,274	152,664
土地再評価差額金	△5,531,033	△5,531,033
為替換算調整勘定	△567,276	△766,786
退職給付に係る調整累計額	63,940	67,146
その他の包括利益累計額合計	△5,894,094	△6,078,008
新株予約権	53,424	53,424
純資産合計	23,867,455	23,754,550
負債純資産合計	32,179,754	31,812,584



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	8,477,980	6,763,016
売上原価	4,615,861	3,727,131
売上総利益	3,862,118	3,035,884
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	89,215	44,425
荷造運搬費	215,261	214,823
貸倒引当金繰入額	545,849	3,525
販売手数料	132,326	148,222
給料及び手当	696,146	694,015
賞与引当金繰入額	200,812	205,740
役員賞与引当金繰入額	14,800	7,670
退職給付費用	48,235	43,658
旅費及び交通費	98,997	126,450
減価償却費	58,676	95,227
研究開発費	247,102	217,464
その他	560,479	585,117
販売費及び一般管理費合計	2,907,904	2,386,342
営業利益	954,214	649,542
営業外収益		
受取利息	2,722	868
受取配当金	11,493	11,798
物品売却益	4,108	2,852
為替差益	16,541	—
保険解約返戻金	2,869	1,973
電力販売収益	7,673	8,084
その他	26,461	6,949
営業外収益合計	71,868	32,528
営業外費用		
支払利息	6,544	4,345
為替差損	—	5,628
電力販売費用	3,542	3,083
その他	1,135	710
営業外費用合計	11,222	13,768
経常利益	1,014,860	668,302
税金等調整前四半期純利益	1,014,860	668,302
法人税、住民税及び事業税	602,949	257,856
法人税等調整額	△163,898	△35,556
法人税等合計	439,050	222,300
四半期純利益	575,809	446,001
親会社株主に帰属する四半期純利益	575,809	446,001

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	575,809	446,001
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,692	12,389
為替換算調整勘定	185,877	△199,509
退職給付に係る調整額	5,269	3,206
その他の包括利益合計	180,454	△183,914
四半期包括利益	756,264	262,087
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	756,264	262,087

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	食品加工機械製造販売事業				
	日本	北米・南米	ヨーロッパ	アジア	小計
売上高					
(1)外部顧客への売上高	4,655,466	358,565	600,295	766,827	6,381,155
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	758,053	5,940	—	—	763,994
計	5,413,520	364,506	600,295	766,827	7,145,149
セグメント利益又は損失(△)	1,396,662	△6,979	16,189	349,899	1,755,770

	食品製造販売事業			合計
	北米・南米	日本	小計	
売上高				
(1)外部顧客への売上高	1,967,579	129,246	2,096,825	8,477,980
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	23	23	764,017
計	1,967,579	129,270	2,096,849	9,241,998
セグメント利益又は損失(△)	△336,699	22,167	△314,532	1,441,238

(注) 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北米・南米……………アメリカ合衆国、カナダ、メキシコ

(2) ヨーロッパ……………ドイツ、ロシア

(3) アジア……………中国、台湾、韓国

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,441,238
セグメント間取引消去	△67,500
本社一般管理費(注)	△419,524
四半期連結損益計算書の営業利益	954,214

(注)本社一般管理費は、当社の管理部門に係る費用であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	食品加工機械製造販売事業				
	日本	北米・南米	ヨーロッパ	アジア	小計
売上高					
(1)外部顧客への売上高	2,552,409	540,210	939,122	973,964	5,005,706
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	902,643	3,970	—	—	906,613
計	3,455,052	544,180	939,122	973,964	5,912,319
セグメント利益	443,652	25,359	108,409	344,348	921,769

	食品製造販売事業			合計
	北米・南米	日本	小計	
売上高				
(1)外部顧客への売上高	1,635,936	121,373	1,757,309	6,763,016
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	47	47	906,660
計	1,635,936	121,420	1,757,357	7,669,676
セグメント利益	124,510	21,929	146,440	1,068,210

(注) 各区分に属する主な国又は地域

- (1) 北米・南米……………アメリカ合衆国、カナダ
- (2) ヨーロッパ……………ドイツ、イギリス
- (3) アジア……………中国、オーストラリア

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,068,210
セグメント間取引消去	46,283
本社一般管理費(注)	△464,951
四半期連結損益計算書の営業利益	649,542

(注) 本社一般管理費は、当社の管理部門に係る費用であります。